

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

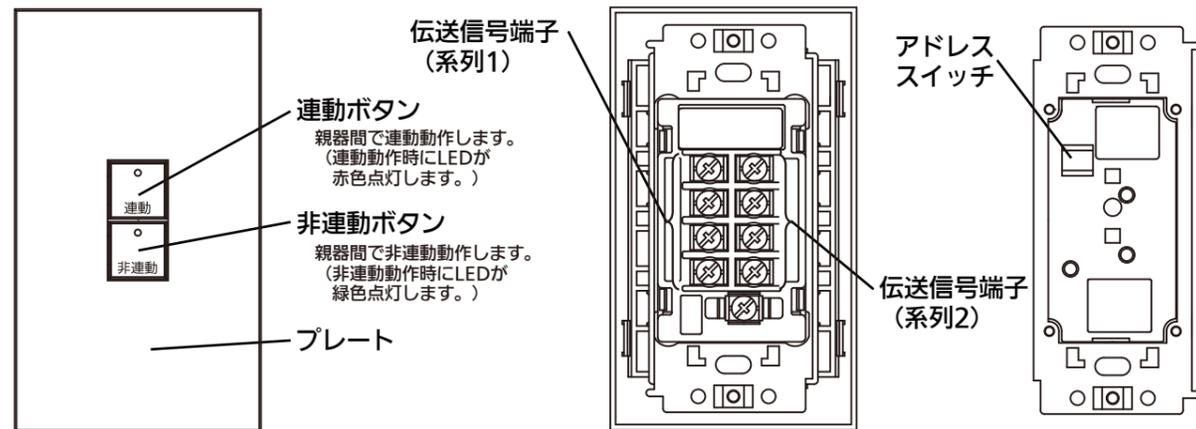
- 本器の分解や改造および修理はしない。火災や感電の原因となります。
- 必ず適合のコントローラと組合せて使用する。火災や感電の原因となります。
- 施工は取扱説明書にしたがい確実にこなす。火災や感電、落下の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。火災や感電の原因となります。
- 断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態で施工はしない。火災の原因となります。



仕様

定格電圧	コントローラより供給	適合コントローラ	ライトマネージャーFx
使用温度範囲	0~35℃（結露なきこと）	入力電流	29mA

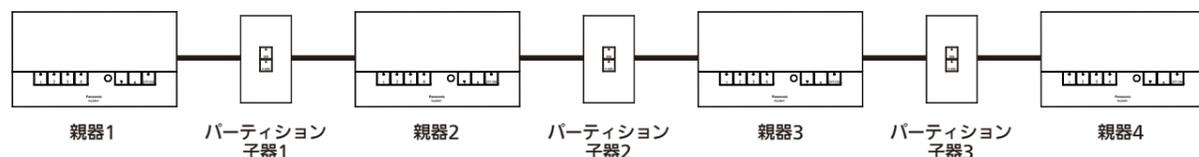
各部のなまえとはたらき



本体付属品
プレート、取扱説明書

システム構成

本器は1システム内で最大3台まで接続することができます。

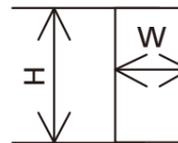


※パーティション子器は連動させる両親器で1台として計算します。上記構成の場合、親器1は子器1台、親器2は子器2台接続されています。

(注) 本器を使用してもループ状に配線することはできません。

施工前のご確認

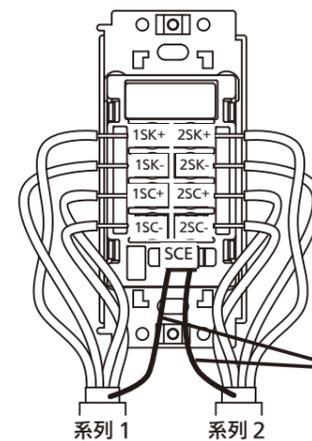
- 本器の取付にはJIS1コ用スイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。（樹脂用スイッチボックスも使用可能です。）
- 取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。



	W	H	
スイッチボックス取付	51 ⁺⁸ ₀	90 ⁺⁵ ₀	(単位：mm)
はさみ金具取付	47 ⁺² ₋₂	95 ⁺² ₋₂	

施工手順

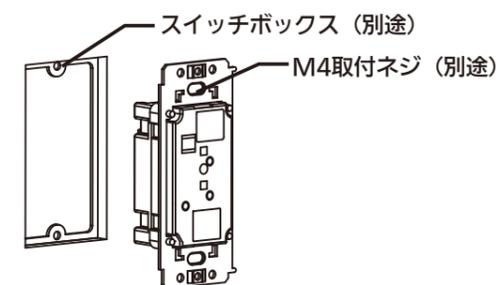
1. 伝送信号線を接続する。



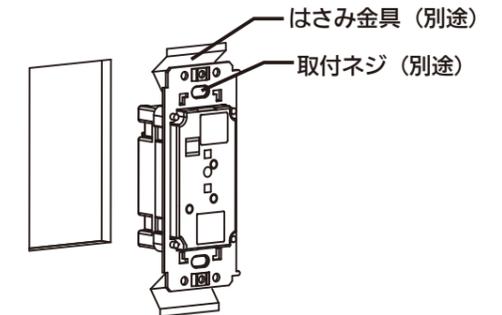
- ・コントローラとの配線はコントローラの施工説明書などでご確認ください。
- ・伝送信号線にはEM-CPEE-S（CPEV-S相当）φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。（剥き代10mm）
- ・伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- ・伝送信号線は1台ずつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。（途中で分岐して接続することはできません。）
- ・同じ端子記号同士を接続してください。

シールド
シールドはSCE端子に接続してください。

2. 本体を取り付ける。



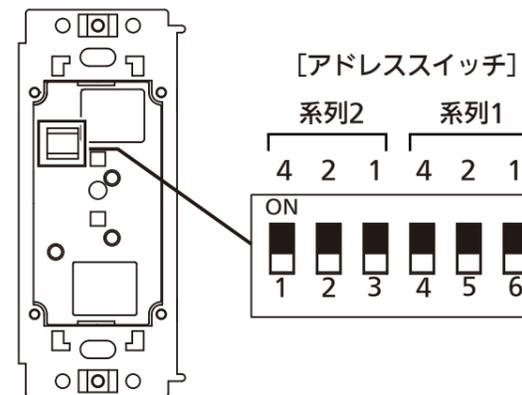
<スイッチボックス取付>



<はさみ金具取付>

・壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。

3. アドレスの設定を行う。



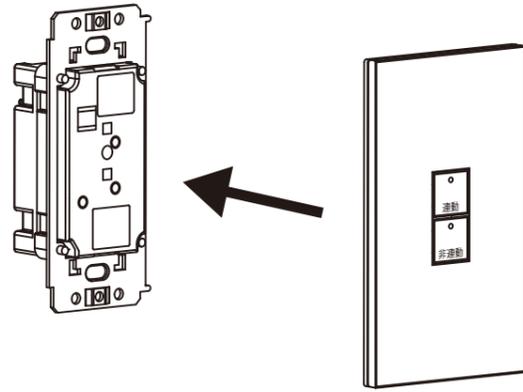
系列1、系列2両方のアドレスを設定してください。（設定の際は細いドライバーなどを使用してください。）

※出荷時は系列1、系列2共にアドレス1になっています。

ON	4 2 1	4 2 1	4 2 1	4 2 1
アドレス1	ON	OFF	OFF	OFF
アドレス2	OFF	ON	OFF	OFF
アドレス3	OFF	OFF	ON	OFF
アドレス4	OFF	OFF	OFF	ON
アドレス5	OFF	OFF	OFF	OFF
アドレス6	OFF	OFF	OFF	OFF
アドレス7	OFF	OFF	OFF	OFF
アドレス8	OFF	OFF	OFF	OFF

・複数台子器を使用する場合は必ずアドレス設定をし、同系列内でアドレスが重複しないように設定してください。（誤動作の原因となります。）

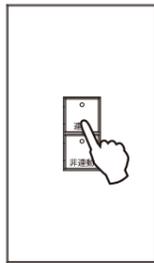
4. プレートを取付ける。



※プレートを外す際は、プレートの上部を押さえ、プレートの側面下部をつかみながらひっぱってください。

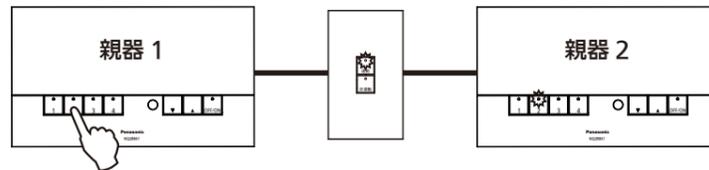
操作方法

<連動動作にする>

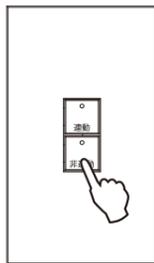


連動ボタンを押してください。

連動状態では親器1での操作が親器2にも反映されます。また、親器2での操作も親器1に反映されます。(連動するのはシーン再生・全消灯(子器含む)になります。)

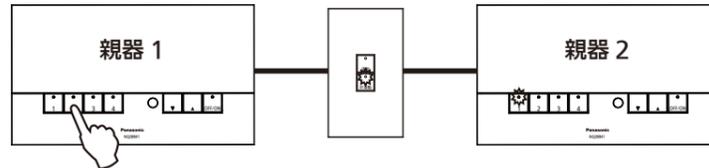


<非連動動作にする>



非連動ボタンを押してください。

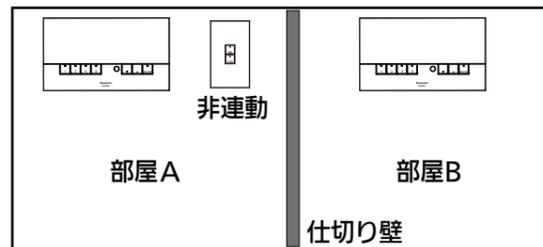
非連動状態では親器1での操作が親器2には反映されません。また、親器2での操作も親器1には反映されません。



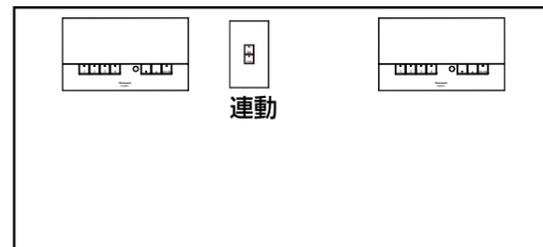
パーティション子器としての役割

仕切り壁などを使用して、複数の部屋に間仕切りしたり大部屋で使用したりするとき。。。。

部屋A、部屋Bに仕切り壁などで別部屋として使用する場合、非連動動作にすると各部屋で独立して操作することができます。



仕切り壁を外し大部屋として使用する場合、連動動作にすると各親器から部屋共通の操作ができます。



故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
LEDが点灯しない	コントローラの電源が入っていない。 「1SK+」、「1SK-」の線が接続されていない。	コントローラの電源を入れてください。 伝送信号線の結線を見直してください。
連動、非連動ボタンのLEDが点滅する	「1SC+」、「1SC-」、「2SC+」、「2SC-」の線が接続されていない。	伝送信号線の結線を見直してください。
連動ボタンのLEDが点滅する	「1SC+」、「1SC-」の線が接続されていない。	系列1の伝送信号線の結線を見直してください。
非連動ボタンのLEDが点滅する	「2SC+」、「2SC-」の線が接続されていない。	系列2の伝送信号線の結線を見直してください。
連動動作ができない	非連動動作となっている。 アドレスが重複している。(複数子器接続時) 適合コントローラが接続されていない。	連動ボタンを教えてください。 各子器のアドレスを見直してください。 正しいコントローラを接続してください。

上記点検でもなお異常がある場合は、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店にご相談ください。

安全点検について

コントローラ取扱説明書に安全チェックシートがあります。
コントローラのチェック時に本器も同じチェックを実施してください。